

ドリームグイ

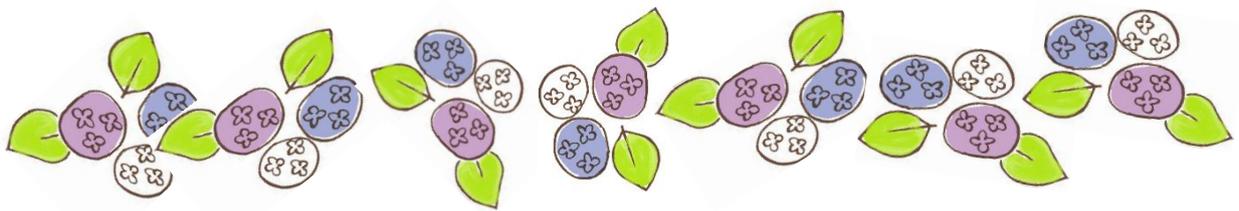
本部 だより

NO.3
2023年6月16日

法人全体で各事業所を支える体制を！

6月8日に開催した理事会において、2022年度の事業報告を承認いただきました。報告書にまとめられた各事業所の2022年度の取り組みをもとに、2023年度に向けた取り組みが確実に実施できるようにしていきます。

理事会では、各事業所の職員の不足について意見が交わされました。職員不足は、社会福祉事業を行う多くの法人の課題でもあります。ドリームグイにおいても厳しい状況にありました。特にハウスの職員不足は深刻な状況にあります。理事からは、職員募集・確保に向けての継続的な取り組みを行うとともに、職員の定着に向けた取組、法人全体でハウスを支えていく仕組みの構築が必要であることを強く求められました。そのため、ハウスをはじめ、各事業所が厳しい状況にあるときは、法人職員全体で支えていく仕組みづくりに取り組んでいきます。

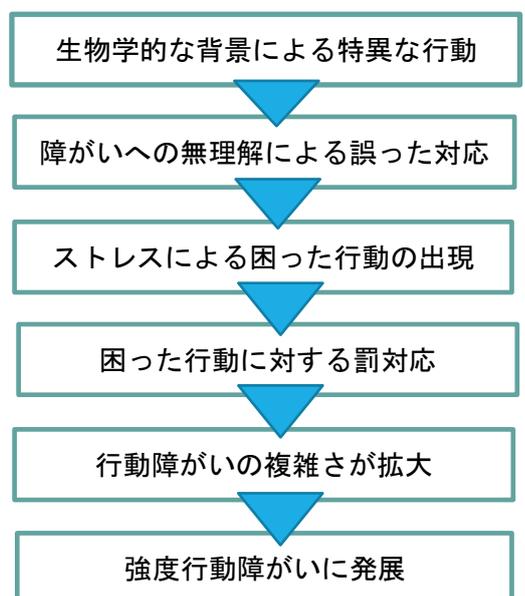


強度行動障がいの理解と対応

強度行動障がいのある人の支援の委員会が都庁で開催され、理事長が委員として出席してきました。

強度行動障がいは、激しい不安や興奮、混乱の中で、攻撃、自傷、多動、固執、不眠、拒食、強迫などの行動上の問題が頻繁に日常生活に出現し、著しく処遇困難になった状態と言われています。飯田雅子氏(社会福祉法人くず葉学園理事長)は、障がいによる特異な感覚や行動などの背景と不適切なかかわり方の相互交渉により形成された状態像として図のように示しています。

その対応の難しさは、職員の皆さんが直面していることと思います。まず、支援者がその行動の背景を理解することから適切な対応が生みだされていくものだと考えて、対応していきたいと思います。そして研修が重要であり、計画的な研修の実施を検討していきます。



飯田雅子(2022)「知的障がい・自閉スペクトラム症 寄り添い支援のまなざし」より作成